

## 活動報告

## 西播磨リハフェスタに参加して

三戸呂 克美

去る10月15日の日曜日、たつの市新宮町光都にある、兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンターにおいて「ふれあいリハフェスタ in 西播磨 2017」が開催され、島本卓、三戸呂克美が参加しました。

恒例となったイベントですが、兵庫頸髄損傷者連絡会は毎年ブースを提供していただき出展をしています。今回の目玉は、頸損連絡会の説明用として作成した大型パネルでした。今までは手書きのものをブースの入り口に張り付けて来客の皆さんに見てもらっていました。しかし、今回はパネルにして大きく脊髓の写真(図)を載せたことでより一層脊髓の損傷部位を明確にしたのが多くの皆さんの目に留まり理解を得たことと思います。それというのも、車いすの方が入れ代わり立ち代わり見にこられていました。

また、リハ病院の金澤先生(医師)より入院患者さんの紹介を受けブースでの交流会を開催しました。入院中の患者さんとの交流は、家族さんからの質問から入り、「転院を言われているがどうすればよいか」とか、退院後の生活についてなど誰もが一度は聞きたいことで、特にこれからどのような生活や制度に不安を感じておられることでした。

病院職員(PT)からの相談もありました。チンコントロールの車いすを作るに必要な知識や車いすの選び方など熱心に質問され、患者さんの状態に合った機種や環境に合ったモノを選ばれることが良いなどの説明をしました。

当日はあいにくの雨ふりでしたが、多くの参加者で賑わっていたリハフェスタでした。



熱心に見ている大型パネル